

平成23年度事業計画

方 針

千葉市は、団塊世代前後の人口割合が高いところから、今後5～10年は、後期高齢者とともに、前期高齢者（65歳～74歳）も急増するといわれています。

少子・長寿高齢社会がさらに進むとき、社会保障をはじめ、さまざまな課題が提起されていますが、全国老人クラブ連合会では、平成22年度から老人クラブ活性化3か年計画を進めております。

この3か年計画では、

- 健康づくり・介護予防活動
- 若手リーダー養成
- 一般高齢者への呼びかけ（開かれたクラブづくり）

の推進を三つの柱として掲げています。

このような情勢のなか、千葉市老人クラブ連合会（市老連）は、公益法人制度の改革による新しい法人に移行するため、今年度はその準備を進め、平成24年度中の移行を目指しております。

最近の市老連会員の年齢構成や会員数などから、若手会員の加入や若手リーダーの養成は大きな課題で、そのための施策を着実に進めていきたいと思っております。

また、新法人制度では、「公益事業活動」が評価されますので、「開かれたクラブづくり」を効果的に進めていくことが期待されます。

平成24年は、市老連創立50周年にあたります。新法人移行もこの年を目標に進めておりますので、諸般の情勢の厳しいときではありますが、創意工夫をこらして事業活動を効率的に実施していきます。

重 点 項 目

- 1 健康づくり・介護予防の施策を着実に実施する
- 2 若手会員の確保、若手リーダーの養成を図る
- 3 開かれたクラブづくりに積極的に取り組む
- 4 新法人移行準備を確実に進める

